

学校教育計画 (平成28年度～平成31年度)

学校名	茅ヶ崎北陵高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	-----------	------------------	---------

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に 대응するため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、次代を担う幅広い教養を身に付けた思いやりのある人づくりをめざし、生徒の主体性を喚起し、幅広い教養、確かな学力の育成に取り組んできたが、今後はさらに、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

また、平成28、29、30年度の3年間「教育課程研究開発校（新たな学習評価に係る研究）」として研究開発に取り組み、その成果を地域の県立高校に様々な機会を設けて普及するとともに、平成28、29年度の2年間「学力向上進学重点校エントリー校」として平成30年度の学力向上進学重点校の指定に向けて取り組む。

2 学校教育目標

- 心身ともに逞しく粘りのある人間を育成する。
- 義務と責任を重んじる人間を育成する。
- 社会的秩序を尊重し社会の福祉に貢献する人間を育成する。
- 勤勉で努力を惜しまぬ誠実純真な人間を育成する。
- 確実な学力と豊かな情操を身につけた人間を育成する。

3 計画作成時点での課題

- 授業の質と量の確保が課題である。また、生徒自らが課題を発見し解決する力の育成と、主体的に学ぶ意欲をさらに高める教育実践の工夫が課題である。
- 交通ルールやマナーについて指摘を受けることもあり、社会規範を守り、社会で活躍できる人材育成に向け、多様な生徒に対し心身ともに健全な発達を促す指導、支援が必要である。
- 大学進学において初めから推薦等に頼る生徒も多く、地域の全日制普通科の進学校として、国公立大学や私立難関大学の合格・進学を含め、生徒がより高いレベルでの進路希望の実現や自己実現に向かえる指導や支援をすることが課題である。
- 防災を中心とした、地域における連携、協働、協力体制のさらなる充実が課題である。
- 成績処理や帳票作成、入学者選抜等における迅速かつ正確な業務の徹底が課題である。
- 臨時新校舎とグラウンド等の体育施設が離れている現状において、生徒の安全な教育環境の確保が依然として課題である。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに取り組み、全日制普通科の進学校として、共通教科・科目を中心に、教育課程を適切に編成する。 ・生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善の実施等、高いレベルでの思考力、判断力、表現力を育成する。 ・学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の他者理解や他者との協働による取組を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者のニーズを踏まえ、授業の質と量の充実に向け、教育課程の検証と見直しを行う。 ・授業改善計画に則った、組織的な授業改善を継続して推進する。 ・「教育課程研究開発校（新たな学習評価に係る研究）」を活用し、校内の研究を充実させ、成果の普及を図る。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・社会規範を守り社会で活躍できる「人づくり」を行う。 ・部活動を通し、社会性や自主性等を涵養する。 ・生徒一人ひとりの個に応じた相談・支援体制を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による、社会規範に係る指導や講習会等を計画的、定期的を実施する。 ・高い加入率を維持するとともに、活動内容の充実に向け支援する。 ・生徒一人ひとりの理解と職員の共通理解に基づく相談・支援体制を充実させる。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「学力向上進学重点校エントリー校」として高いレベルでの人材を育成する。 ・将来の日本や国際社会でリーダーとなる高い資質・能力を持った人材を育成する。 ・地域社会で中核となって活躍する人材を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部資格試験等を積極的に活用する。 ・発展的な講習等を実施する。 ・人材育成に向けたキャリア教育実践プログラムを発展させる。 ・教育機関との連携を深める。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域との協働、協力体制を推進し、地域の期待に応える学校づくりを進める。 ・効果的な情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の異校種との協働、連携を充実させる。 ・地域と連携した防災訓練の実施等、学校防災教育を充実させる。 ・学校教育活動の効果的な広報活動を行う。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員一人ひとりの危機管理意識を高め、不祥事の根絶を図る。 ・学校運営組織の円滑かつ有効な運用を図り、常に検証する姿勢を堅持し、尚一層の教育活動の改善、充実を図り、学校力向上に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループが主体となった不祥事防止研修会を計画的、組織的に実施する。 ・成績や入学者選抜等における迅速かつ正確な業務を徹底する。 ・校内での検証を確実に行うとともに、学校関係者や外部評価の結果を改善に結びつける。

